令和４年度（公財）松山観光コンベンション協会

事　業　報　告

Ⅰ．事業概要

令和４年は、3 月に「まん延防止等重点措置」が全面解除となり、10 月には日本入国の水際対策が緩和されたことで、入国者数の 1 日当たり上限規制の撤廃、ビザ取得義務の緩和、訪日外国人観光客の個人旅行の受入再開が実施され、インバウンド旅行客の復活の兆しが見られたほか、全国旅行支援が実施されるなど、観光業界にとって明るい光が見え始めた一年となりました。

そのような中、当協会としては、松山を訪れた方へのおもてなしやアフターコロナに向けた事業に積極的かつ効果的に取り組みました。

観光事業では、コロナ加算を継続しながら「おいでんか松山観光客誘致促進事業」の利用促進に努めるとともに、各種事業ではマドンナ大使を現地へ派遣し、コロナ禍で中止されていた観光キャンペーンなど、他県等が取り組む事業にあいのりした観光ＰＲやおもてなし事業に取り組みました。

受入事業では、感染症対策に配慮しながら市内５か所の観光案内所において最新情報の提供に努めました。また、松山観光ボランティアガイドと連携し、松山城、道後温泉、坂の上の雲ミュージアム周辺まち歩きなどの観光案内を実施しました。

物産事業では、新たな誘客先として東北地方を見据え、愛媛県や宇和島市、仙台市とも連携し、仙台市において観光物産展を開催したほか、札幌での 23 回目となる観光物産展を開催しました。さらに、積極的に SNS を活用することで効果的に松山の魅力を発信し、認知度の向上と売り上げ増加につなげました。

コンベンション事業では、コロナの終息を見据え、関係都市と連携しながら「中国四国地区コンベンション誘致懇談会」「７都市情報懇談会」などを通じて積極的に誘致活動を実施しました。また、リアルで開催された国際 MICE エキスポ（IME2023）に出展し、全国のコンベンション推進団体と交流を図りながら誘致活動に取り組んだほか、コンベンション先進都市である長崎から講師を招き、地元ステークホルダーを始めとした関係者を対象とした講演会を実施することで MICE 推進について意識醸成を図りました。

国際交流事業では、3 年ぶりに台湾に訪台して様々な観光ＰＲを実施しました。
コロナ感染症流行後初の訪台となった令和 4 年 10 月の「2022 台北温泉まつり」では、現地での観光キャンペーンとともに台北市政府を訪問し交流を図りました。

令和 5 年 2 月には、23 年ぶりに台北市で開催された台湾全土のランタンフェスティバル「2023 台湾ランタンフェスティバル in 台北」に参加し、台北市長を表敬訪問するなど、松山の PR に努めました。ここで制作したランタンは、道後温泉と友好交流協定を締結している新北投温泉に展示することで効果的な再利用に取り組みました。

また、台北市と台中市で開催された観光商談会に参加し、松山市と合同で観光情報の発信や助成制度の PR を行い団体旅行の誘致につなげました。

さらに、国際線の運航再開や各種チャーター便の運航に伴い、愛媛県や松山市と連携して搭乗客の歓迎やパンフレット、記念品の配布などを実施しました。

各事業の詳細につきましては、別紙のとおりです。

Ⅱ．公益目的別事業報告

１．観光・物産振興事業（公益目的事業１）

決算総額　77,380 千円

（人件費を除く。以下同じ）

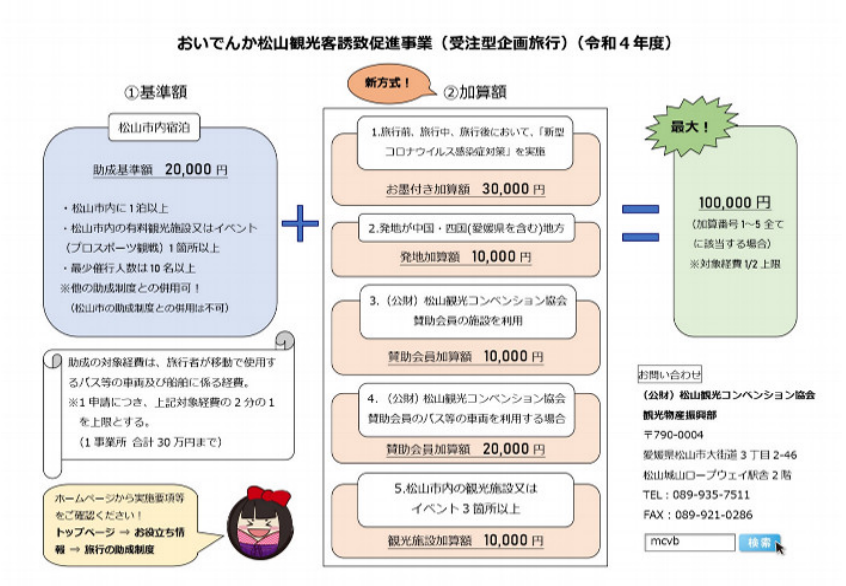
（１）おいでんか松山観光客誘致促進事業　　支出決算　990 千円

＜受注型企画旅行＞

旅行会社が松山市へ観光客を送客する受注型企画旅行に関し、貸切バスや船舶にかかる費用の一部を助成する事業。令和４年度は引き続きコロナ対策助成を加算し、旅行会社により活用してもらえるように取り組んだ。（詳細は別紙資料３参照）

・送客実績：助成件数　16 件、送客実績　530 人、推定消費額　16,600 千円

※参考：令和３年度送客実績　９件　211 人（6,600 千円）



（２）松山マドンナ大使関連事業　　支出決算　2,652 千円

2022 年度　松山マドンナ大使関係事業

委嘱式　　令和４年４月１日（金）

派遣件数　　34 件（延べ日数　50 日）

2023 年度　松山マドンナ大使選考会

期　日　　令和４年 12 月 24 日（土）

応募者　　34 名

場　所　　松山市総合コミュニティセンター

（左から西山紗弥、村上優衣、中井七愛）

瀬戸内４県都市観光 PR イベント

全国商工会議所観光振興大会

プロ野球公式戦観光 PR

光のおもてなし in 松山城

あまいもんフェス（仙台）

松山 DAY in 神宮球場観光キャンペーン

（３）観光 PR 事業（新聞・ﾃﾚﾋﾞ・雑誌等による PR およびｲﾍﾞﾝﾄ）　支出決算　4,247 千円

①　広告宣伝関連

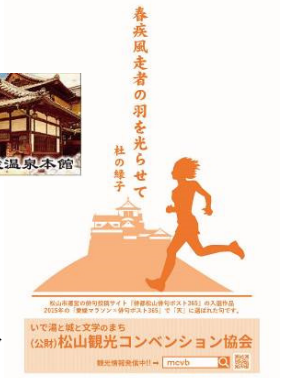
ア．雑誌、新聞等への広告

イ．愛媛ＦＣ及び愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングスの試合会場への看板掲出

ウ．愛媛マラソン手荷物預かり袋広告制作

ア

イ



ウ

②　イベント関連

・大神輿総練　※中止

内　　容　　例年９月に開催していたが、新型コロナウイルス感染症のため、密集・密接など大人数が集まるイベントを開催することができず、今年度もやむを得ず中止となった。

（４）観光キャンペーン事業　　支出決算　28,743 千円

①　松山 DAY　in　神宮球場　観光キャンペーン

期　　日　　令和４年８月 24 日(水)

場　　所　　神宮球場

内　　容　「東京ヤクルトスワローズ　ＶＳ　広島東洋カープ」

・ｶﾗｰﾋﾞｼﾞｮﾝによる PR（試合開始前､2 回裏終了､3 回裏終了、８回裏終了）

・のぼりの設置（40 本)、横断幕の掲示、観光ポスターの掲示（70 枚）

・ラッキープレゼントの実施

松山へのペア旅行券　１名

道後温泉バスタオル・入浴剤、まつやま農林水産物ブランド　各 10 名

・観光パンフレットやノベルティの配布（先着 1,000 名）

・球団への記念品贈呈、選手への差し入れ

・両軍選手代表への記念品贈呈

・九州ハニーズ　川端友紀選手による始球式

・愛媛県「みきゃん」及びキッチンカーによる食の PR

また、今年度はつば九郎 2000 試合出場祝いの記念品を贈呈した。

始球式

記念撮影

つば九郎記念品贈呈

横断幕の設置

カラービジョン

キッチンカーの出店

② あいのりキャンペーン

ア．松山観光 PR 事業（大阪市）

期　　日　　令和４年５月７日（土）

場　　所　　ヨドコウ桜スタジアム（大阪府大阪市）

内　　容　　全国の百貨店において、大規模催事など営業戦略の見直しが行われる中で、今後の物産販売の新たな可能性を探るため、県外でのスポーツイベントや愛媛県観光物産協会と連携した全国各地での中・小規模催事への出店も検討し、宣伝効果が高いゴールデンウィーク期間中、日本女子サッカーリーグ（なでしこリーグ１部）の愛媛ＦＣレディースＶＳセレッソ大阪堺レディース戦が開催されるヨドコウ桜スタジアムに松山市ブースを出展し、観光ＰＲ及び物産販売を実施し、関西圏からの観光誘客を図った。

イ．愛媛・松山市の逸品プレゼント【おもてなし企画】

期　　日　　令和４年７月 15 日（金）～令和５年２月 28 日（火）

場　　所　　松山空港 1F　Orange BAR・松山三越 1F 愛媛･松山観光ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ

内　　容　　福島空港「乗り継ぎキャンペーン」を利用して松山に来られた方へ愛媛ならではの逸品をプレゼントした。

ウ．食のみやこ鳥取県「農と食のフェスタ in せいぶ」第９回ネギ来まつり観光ＰＲ

期　　日　　令和４年 10 月 22 日（土）～10 月 23 日（日）

場　　所　　米子市文化ホール前広場（鳥取県米子市）

内　　容　　松山の認知度の向上や、松山・高知・米子の広域連携による交流人口の拡大、松山産品の販売促進を図るために、ブースを出展し観光ＰＲ並びにミニ物産展を実施した。

また、10/22、10/23のイベント両日に地元ラジオにも生出演し、松山の観光PRをおこなった。

エ．食の祭典「第 55 回南国土佐皿鉢祭」観光ＰＲ

期　　日　　令和５年３月５日（日）

場　　所　　ひろめ市場前広場（高知県高知市）

内　　容　　交流人口拡大のため高知市で開催される集客力が高いイベントに参加し観光ＰＲを実施することで、松山への誘客促進に努めた。

③ その他

ア．瀬戸内・松山ツーリズム推進会議　観光商品説明会for2023

期　　日　　令和4年10月17日（月）

場　　所　　ホテルグランヴィア大阪　20F　鳳凰の間（大阪府大阪市）

内　　容　　松山圏域に団体旅行を取り戻すための一手として関西圏の約15社50名が参加する観光商品説明会に参加することで、「おいでんか松山観光誘致促進事業(受注型企画旅行)」の利用促進と、関西圏からの団体客の誘客促進を図った。

イ.「まつやまに泊まろうキャンペーン」観光ＰＲイベント

期　　日　　令和4年11月29日（火）～11月30日（水）

場　　所　　TKRガーデンシティ天神（福岡県福岡市）

ソラリアプラザビル１階イベントスペース（福岡県福岡市）

内　　容　　コロナ禍で大きな打撃を受けた観光需要の回復に向けて、松山市内宿泊者を対象に割引キャンペーンを実施するため、商談会や観光ＰＲイベント等のプロモーションに取り組んだ。

④　台湾・台北市観光キャンペーン

ア．2022 台北温泉まつり

期　　日　　令和 4 年 10 月 27 日(木)～10 月 31 日（月）

場　　所　　新北投温泉駅前広場　外

内　　容　　新型コロナウイルス感染症後、初めて訪台してのイベントであったが、日本から実際に参加した都市は松山だけであり、台北市政府観光傳播局や台北市温泉発展協会に非常に感謝された。松山の観光ＰＲブースは会場の一番奥であったが、ステージに近かったことで人の流れを創出でき、効果的に松山の魅力、文化を訪れた方に紹介することができた。また、ダーツゲーム開催時には長蛇の列ができるなど、会場の賑わいにも一役を担い、大いに松山を印象づけることができた。

開会式

野志市長ビデオメッセージ

松山ブース

ピストルダーツ

会場内様子

会場内の様子

イ．2023 台湾ランタンフェスティバル in 台北

期　　日　　令和５年２月５日（日）～2 月 19 日（日）

場　　所　　台北市信義區

内　　容　　23 年ぶりに台北市で開催される「2023 台湾ランタンフェスティバル」で松山市をＰＲするために、松山城を中心に道後温泉本館と別館 飛鳥乃湯泉、坊っちゃんカラクリ時計及び愛媛県のイメージアップキャラクター「みきゃん」が人力車を引いて松山を案内するランタンを出展した。会場には、松山観光ＰＲブースを設け、来場者に対して愛媛県や松山市の観光パンフレットを配布し、最終日には早々に配布する観光パンフレットがなくなるほど大好評であった。また、ピストルダーツを実施し、的に命中した人には記念品として松山オリジナルグッズ等を数量限定で配布したほか、インスタグラムや Facebook 等のＳＮＳに当協会のランタンやブースの模様を掲載してくれた人にも記念品を贈呈することで、「松山」の名前を広めることに努めた。

ランタンフェスティバル終了後に、ランタンは道後温泉と友好交流協定を結んでいる北投温泉の水美会館前に移設した。

松山のランタン

ピストルダーツ

松山ブース

台北市長主催レセプション

市長表敬

ウ．愛媛県商談会

期　　日　　令和５年２月６日（月）～2 月７日（火）

場　　所　　台北市・台中市

内　　容　　2023 台湾ランタンフェスティバルに合わせてエバー航空のチャーター便が運航し、その日程で愛媛県が商談会を開催したため、松山市と合同でブースを出展し観光情報や助成制度を PR し、団体旅行の誘致につなげた。

台北会場

台中会場

（５）物産と観光展事業　　支出決算　5,736 千円

①　えひめ・松山　あまいもんフェスティバル 2022　in　仙台

期　　日　　令和４年 12 月２日（金）～12 月４日（日）　３日間

場　　所　　サンモール一番町商店街　藤崎前　特設会場
（宮城県仙台市青葉区一番町）

内　　容　　松山－仙台直行国内線の運航再開・東北エリアから愛媛県への誘客・東北―広島―愛媛を結ぶ広域観光周遊ルートの形成を目的として愛媛県並びに仙台市と姉妹都市である宇和島市にも協力を得て、東北エリアで初めて開催した。

物産コーナーには食品８店舗が出店し、えひめ・松山のあまいもんを中心に販売し、大好評であった。また、宮城・愛媛が誇る人気者たちが一堂に集結するイベントを実施し、会場は大盛り上がりとなった。

物産販売の様子

物産販売の様子

街頭宣伝

ゆるキャラ等とＰＲ

② 四国・松山の物産と観光フェア（札幌）

期　　日　　令和５年２月 16 日（木）～2 月 22 日（水）　７日間

場　　所　　さっぽろ東急百貨店　１階・地下１階イベントスペース

内　　容　　これまで 22 回にわたり、さっぽろ東急百貨店９階催物場にて「四国・松山の物産と観光展」を開催してきたが、昨年催物場の運営方法が見直され同様の催事が開催できなくなったため、名称を変更し今年は１階・地下１階の各イベントコーナー４箇所に分散した形で新型コロナウイルス感染症対策も十分に徹底し開催した。

会場では、工芸品 4 店舗、食品 12 店舗が出店し、松山が誇る魅力ある商品を取り揃え、参加者一体となって販売促進に取り組んだ。

今回、初めて１階・地下１階で開催し、これまでの物産展目的の固定客以外に通勤客も会場に多数訪れ、各社とも新たな顧客獲得に成功した。

会場の様子

会場の様子

会場の様子

観光コーナー

観光 PR

街頭宣伝

（６）パンフレット等の作成頒布事業　　支出決算　869 千円

「瀬戸のまつやま・海ごはん」ＭＡＰ

松山オリジナルマスクケース

（表）

（裏）

＜配布先＞

ネギ来まつり観光ＰＲ等（300枚）

松山空港利用促進協議会（200枚）

えひめ・松山　あまいもんフェスティバル2022　in　仙台（1,000枚）

ベトナムチャーター便おもてなし（180枚）

台湾・韓国チャーター便おもてなし（400枚）

ベトナムプロモーション（300枚）

四国・松山の物産と観光展フェア（札幌）（2,000枚）

福島空港乗り継ぎキャンペーン（100枚）

台湾･台北市観光キャンペーン（1,100枚）

（７）案内所運営事業　　支出決算　30,250 千円

① 松山城東雲口駅舎１階案内所（委託業務）
② 道後観光案内所（委託業務）
③ JR 松山駅松山市観光案内所（委託業務）
④ 松山観光港ターミナル観光案内所（委託業務）
⑤ 愛媛・松山観光インフォメーションセンター（松山三越内）（委託業務）

観光案内所	件　数
松山城東雲口駅舎１階案内所	4,664　件
道後観光案内所	13,346　件
JR 松山駅松山市観光案内所	19,218　件
松山観光港ターミナル観光案内所	4,030　件
愛媛・松山観光インフォメーションセンター	2,226　件

松山城東雲口駅舎１階案内所

道後観光案内所

JR 松山駅松山市観光案内所

松山観光港ターミナル観光案内所

愛媛・松山観光インフォメーションセンター

（８）松山観光ボランティアガイド事業　　支出決算　3,893 千円

① **ボランティア活動報告**

新型コロナウイルス感染症対策として、案内時の検温の実施や氏名記入などに配慮しながら案内を実施した。

●登録者数　　108 名

1.案内コース	道後周辺	松山城
2.案内日	毎日（年末年始除く）	毎日（年末年始除く）
3.案内時間	9:00～12:00	9:00～12:00
	13:30～16:30（金土日祝のみ）	13:00～16:00
4.ガイド人数	平日　　2名	平日　　4名
	土日祝　4名	土日祝　10名
5.案内件数	1,362件	1,842件
6.案内人数	3,402人	5,679人

1.案内コース	坂の上の雲ﾐｭｰｼﾞｱﾑ周辺	JR松山駅発 湯･遊ｺｰｽ（休止）
2.案内日	毎日（坂の上の雲ﾐｭｰｼﾞｱﾑ休館日及び年末年始除く）	土日祝（年末年始除く）
3.案内時間	9:30～12:30	
	13:00～16:00	12:30～16：30
4.ガイド人数	平日　　2名	土日祝　松山城　1名
	土日祝　6名	土日祝　道後　　3名
5.案内件数	1,921件	0件
6.案内人数	4,059人	0人

②　ボランティア募集事業

ふるさとふれあい塾　～松山観光文化コンシェルジェ講座～

主　　催　　松山商工会議所・松山大学・(一社)愛媛県観光物産協会・松山市
　　(公財)松山観光コンベンション協会

開講期間　　令和4年9月30日(金)～令和5年1月6日(金)　　(全14回)

場　　所　　対面・オンライン併用

受 講 者　　一般　59名、松山商業高校生40名、大学生89名　　計188名

２．コンベンション事業（公益目的事業２）

決算総額（支出）　18,086 千円

（１）誘致促進事業　　支出決算　3,129 千円

①　誘致セールス活動

松山市において開催の可能性があるコンベンション主催者を対象に、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いた 11 月～12 月に、首都圏で誘致活動を実施した。
加えて、松山市内外の地元主催者への誘致活動を積極的に実施した。
（詳細は別紙資料４参照）

首都圏：　68 件
県　内：　26 件

②　第 32 回国際 MICE エキスポ（IME2023 ）への参加（出展）

会　期　令和５年２月 16 日（木）
会　場　東京国際フォーラム
主　催　日本政府観光局（JNTO）
（一社）日本コングレス・コンベンション・ビューロー（JCCB）
概　要　３年ぶりのリアル開催で、想定以上の飛び込み商談があり今後の営業に繋がる情報を得ることができた。
当協会への商談は 16 件あり、コンベンション施設、支援制度、ユニークベニューなどについて説明し、愛媛・松山での MICE 開催を具体的に理解していただいた。

松山ブース

会場の様子

③　誘致懇談会の開催

ア．中国・四国地区コンベンション推進協議会事業

中国・四国地区のコンベンション推進機関 14 団体で構成する協議会であり、相互に意見・情報交換し、事業の円滑な遂行を図る。

・中国・四国地区コンベンション推進協議会総会の開催
① 令和４年７月 15 日（金）　岡山市
② 令和４年 12 月 22 日（木）　岡山市

・中国・四国地区コンベンション誘致懇談会

開催日　　令和４年 12 月１日（木）

会　場　　品川プリンスホテル　メインタワー17 階

概　要　　セラースタッフ約 50 名とバイヤー82 団体 130 名が参加しました。３年ぶりのリアル開催（コロナ対策のため２部制）で、大会主催者も情報収集の機会が少なかった影響か、各都市のブースも盛況だった。

会場の様子

松山ブース

イ．７都市情報交換会事業

全国を７ブロックに分け、各ブロックから都市規模が同等であるコンベンション推進団体が参加して構成する会であり、相互に情報交換を実施するとともに、年に１度、東京で主催者を招き懇談会を実施。

（参加都市：旭川、秋田、前橋、岐阜、姫路、松山、鹿児島）

今年度は会議をほぼオンライン等で実施した。

・７都市情報交換会（７回実施）

開催日及び場所　①令和４年 ５ 月 24 日（火）　オンライン

②令和４年 ６ 月 20 日（月）　東京・オンライン（ハイブリッド）

③令和４年 ８ 月 24 日（水）　オンライン

④令和４年 10 月 19 日（水）　上越

⑤令和４年 12 月 22 日（木）　オンライン

⑥令和５年 １ 月 25 日（水）　東京

⑦令和５年 ３ 月 ９ 日（木）　松山

会議（松山）

松山視察（お遍路体験）

・７都市情報懇談会の開催

開催日　　令和５年１月 26 日（木）
会　場　　東京會舘　７階「クインス」（東京都千代田区丸之内）
主　催　　７都市情報交換会
概　要　　コンベンション主催者 21 団体 31 名と７都市情報交換会の関係者 26 名の合計 57 名が一堂に会し、都市の特徴やコンベンション支援に関する情報提供を行い、7 都市でのコンベンション開催を積極的に働きかける等、盛会のうちに終了した。

会場の様子

松山プレゼン

ウ．コンベンション地元誘致懇談会の開催

開催日　　令和５年２月 15 日（水）
会　場　　リジェール松山
概　要　　長崎市役所文化観光部の牧島昌博氏から「長崎市の MICE への取組み」を主題に講演をしていただき、MICE 施設「出島メッセ」や誘致活動の事例をご紹介いただいた。地元ステークホルダーや MICE 関係者など 112 名の参加があった。

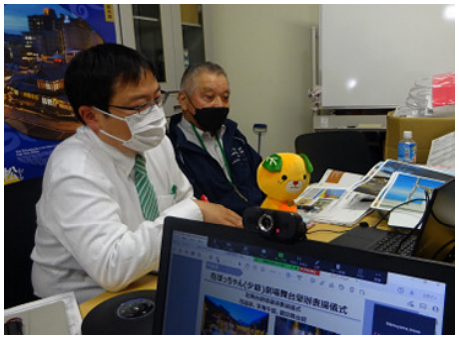
会場の様子

講演会の様子

④ 海外からの誘致促進事業

ア．JNTO インセンティブツアー商談会に出展

会　期　　令和４年 12 月 14 日（水）
会　場　　オンライン
主　催　　日本政府観光局（JNTO）
内　容　　台湾の旅行会社６社と商談。オンラインで通訳を介しての商談であり、時間が不足することもあったが、観光情報の提供や体験型コンテンツやモデルプランを紹介した。



オンライン商談会

イ．松山秋まつりに伴う台北市政府招聘

日　時　　令和４年 10 月６日（木）～10 月８日（土）

内　容　　令和４年 10 月５日～10 月７日に開催された「松山秋まつり」に合わせて、台北市政府観光傳播局を招聘し、市長表敬や松山市内観光地視察を行うとともに道後神輿鉢合わせを見学していただいた。

市長表敬（台北市長からのメッセージ）

市長との記念撮影

鉢合わせ前

総練り（台北市政府観光傳播局長）

観光案内所視察

道後温泉本館視察

（２）開催支援事業　　支出決算　13,771 千円

①　開催助成金制度

愛媛県内へのコンベンション誘致を推進し、コンベンション振興を図るため、県内で開催されるコンベンションに対し延べ宿泊人数に応じて助成金を交付する事業。

交付件数　　26 件（令和 3 年度：4 件）
交付総額　　10,275,000 円（令和 3 年度：1,450,000 円）

②　歓迎用看板等の掲出

国際会議および全国規模（原則として参加者 1,000 人以上が条件）のコンベンションを対象に、松山空港ビルに看板・パネルを掲出表示。歓迎の意を表することで、参加者に対し松山のイメージアップを図り、来松のリピート効果を上げるために実施する事業。今年度はリアル開催のコンベンションが増え、歓迎用看板も掲出できた。

掲出実績　　2 件（令和 3 年度：0 件）

＜掲出イメージ＞

③　支援グッズの作成

・「ようおいでたなもし’22 ～’23」（愛媛・松山観光ガイド）の発行
　アフターコンベンション用ブックとして、食べ飲み歩き MAP と文化観光施設等割引入場券を一緒にした形で発行。
　発行部数　40,000 部

・観光パンフレットやようおいでたなもし等の支援をした大会等
　支援件数　　72 件（令和 3 年度：16 件）
　資料配付数　　53,868 部（令和 3 年度：11,550 部）
　（詳細は別紙資料５参照）

⑤ サポートスタッフ等の派遣

コンベンションボランティア　1 件（2 名派遣）
マドンナ大使　2 件（延べ 4 名派遣）
郷土芸能　1 件

⑥　その他

・コンベンション施設ガイドを刷新し、大会主催者向けに配布している「松山 MICE サポート企業名簿」を作成した。

（３）調査・研究事業　　支出決算　1,186 千円

①　経済波及効果調査

・令和 3 年度コンベンション統計の作成

令和 3 年度に県内で開催されたコンベンションの件数･人数また経済波及効果の調査結果をまとめた資料を作成した。対象を JNTO の国際会議の基準に合わせるなど、内容を刷新した。

〈概要〉　助成金を交付した大会件数・参加者　　4 件・1,045 人
　　経済波及効果　　5,600 万円

②　コンベンション調査

ア．2022 年度コンベンションカレンダーの発行

2022 年度に県内で開催されるコンベンションを記載したもので、賛助会員ならびに大学関係者等に配布した。（発行部数：2,000 部）

イ．アンケート調査の実施

コンベンション参加者を対象に、参加地区・利用交通機関・訪問観光地・宿泊ほか参加経費等について調査を行い、令和 3 年度コンベンション統計の基礎資料とした。

ウ．コンベンションビューロー部会

JCCB 会員（7 業種 119 会員）のうち、コンベンションビューローの会員（70 団体）で組織する部会において、コンベンションの振興を図る上での課題等を検討、協議する会。（会員数は令和 5 年 3 月 31 日現在）

エ．2022 年度 JCCB 総会

開催日　　令和 4 年 6 月 20 日（月）
会　場　　東京・オンライン併用

オ．2022 年度 JCCB 第 1 回部会

開催日　　令和 4 年 10 月 20 日（木）～10 月 21 日（金）
会　場　　デュオ・セレッソ（新潟）

カ．四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会

四国地区のコンベンション推進 5 団体（高松、徳島、鳴門、高知、松山）で構成し、「四国」として共同誘致や事業等を推進していくための会

＜第 1 回＞
開催日　　令和 4 年 6 月 29 日（水）
会　場　　高松市

③　管理システムの運用

コンベンションの誘致・支援活動の状況や、キーパーソンに関する情報等を管理し、効率的な誘致・支援につなげるために、セールスフォースで営業記録を作成した。

Ⅲ．収益事業報告

決算総額（収入）4,657 千円
（支出）　987 千円

１．広告料収入事業

収入決算　985 千円

支出決算　423 千円

（１）松山城ロープウェイ駅舎３階壁面広告

広告期間　2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
広告掲載業者　10 業者

（２）物産陳列ケース広告

展示期間　2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
展示業者　21 業者

（松山城ロープウェイ駅舎３階）

（ＪＲ松山駅）

（３）松山城ロープウェイ・ゴンドラ内広告

広告期間　2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
広告掲載業者　8 業者

（４）（公財）松山観光コンベンション協会ホームページバナー広告

広告期間　2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
広告掲載業者　4 業者

２．手数料収入事業

収入決算　2,723 千円

支出決算　　564 千円

（１）案内所での記念グッズ販売による手数料

佐川印刷㈱絵はがき・一筆箋・メモ帳販売	販売数	67	冊
佐川印刷㈱自動販売機（ｽﾄﾗｯﾌﾟ・ﾌﾞｯｸﾏｰｶｰ）販売	販売数	595	個
愛媛新聞サービスセンター書籍販売	販売数	3	冊
㈱エーシー松山オリジナルグッズ販売	販売数	369	個
㈱ムラヤマ城カード販売	販売数	1,828	枚
㈲前川正樹ﾃﾞｻﾞｲﾝ事務所ﾍﾟｰﾊﾟｰｵｰﾅﾒﾝﾄ・しおり・ｸﾘｱﾌｧｲﾙ販売	販売数	92	枚
松山はいく	販売数	12	枚
㈱マキシム愛媛自動販売機（ガチャポン）販売	販売数	2,846	個

（２）自動販売機での飲料等販売による手数料

設置業者　　大塚製薬㈱、四国乳業㈱、コカ･コーラボトラーズジャパン㈱
ダイドービバレッジサービス㈱、サントリービバレッジソリューション㈱
㈱母恵夢

売上数　　21,360 個

（３）記念メダル販売による手数料

① 松山城メダル

メダル等販売数　　9,431 個
刻印機利用数　　5,161 回

② 道後温泉メダル

メダル等販売数　　801 個
刻印機利用数　　489 回

３．販売収入事業

収入決算　　949 千円

支出決算　　0 千円

（１）名刺台紙販売

販売数　　45 個

（２）図書販売

販売数　　187 冊

（３）ハンドタオル販売

道後温泉足湯タオル販売数	758 枚
松山城ハンドタオル販売数	142 枚

（４）オリジナルグッズ販売

記念バッジ販売数	3 個
紙袋販売数	850 枚
ＷＡＯＮカード	6 枚
マスクケース販売	23 枚

Ⅳ．その他管理事業等

決算総額　9,837 千円

１．機関紙作成

年２回各 4,000 部を発行し、全国のコンベンション推進団体及び賛助会員に配布した。

２．ホームページ等ＳＮＳ運営業務

〔参考〕ユーザー訪問(ﾍﾟｰｼﾞﾋﾞｭｰ)数　　454,973 件（うち、233,958 件はスマホサイト）

３．賛助会員事業

新規加入　　3 件
会　　員　　371 件(令和 5 年 3 月 31 日現在)

４．会議開催

理事会・評議員会の開催を随時行うほか、各専門委員会（企画開発委員会・誘客促進委員会・観光物産振興委員会）を必要に応じ適宜開催した。

（１）理事会

（内容については別紙資料１参照）

①期　　日　　令和 4 年 5 月 23 日(月)
　場　　所　　東京第一ホテル松山　２階　シルバー
②期　　日　　令和 4 年 6 月 10 日（金）
　場　　所　　ホテルマイステイズ松山　３階　ドゥエミーラ
③期　　日　　令和 4 年 12 月 14 日(水)　　※　決議の省略
④期　　日　　令和 5 年 3 月 29 日(水)
　場　　所　　ANA クラウンプラザホテル松山　本館４階　ルビールーム

（２）評議員会

（内容については別紙資料１参照）

①期　　日　　令和 4 年 4 月 1 日(金)　　※　決議の省略
②期　　日　　令和 4 年 6 月 10 日（木）
　場　　所　　ホテルマイステイズ松山　３階　ドゥエミーラ

（３）各専門委員会

（内容については別紙資料２参照）

① 誘客促進委員会

期　　日　　令和４年６月 23 日（木）　10：00～

場　　所　　松山市立子規記念博物館　４階　講堂

② 観光物産振興委員会

期　　日　　令和４年６月 22 日（水）　14：00～

場　　所　　松山市立子規記念博物館　４階　講堂

③ 企画開発委員会

期　　日　　令和４年６月 23 日（木）　14：00～

場　　所　　松山市立子規記念博物館　４階　講堂

５．共催・協賛・後援事業

（１）愛・野球博　第 93 回都市対抗野球四国予選大会

期　　日　　令和４年５月 20 日(金)～5 月 22 日（日）　ほか

主　　催　　JABA 四国地区連盟・毎日新聞社

（２）プロテイン・アイランド・松山２０２２

期　　日　　令和４年６月７日（火）～6 月９日（木）　蛋白質科学会出展

令和４年９月 16 日（金）　第 20 回松山国際学術シンポジウム

令和４年 10 月 12 日(水)～10 月 14 日（金）　Biojapan2022 出展　など

主　　催　　同実行委員会

（３）第 70 回記念　松山港まつり・三津浜花火大会

期　　日　　令和４年８月６日（土）

主　　催　　松山港まつり実行委員会

（４）第 57 回松山野球拳おどり

期　　日　　令和４年８月 12 日（金）～8 月 13 日（土）

主　　催　　松山野球拳おどり実行委員会

（５）松山を楽しもうキャンペーン 2022

期　　日　　令和４年９月～12 月

主　　催　　同実行委員会

（６）えひめユネスコ絵画展「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」アンデパンダン展

期　　日　　写生会：令和４年 10 月 22 日（土）
　　絵画展：令和４年 12 月 23 日（金）～12 月 28 日（水）
主　　催　　松山ユネスコ協会

（７）第 21 回坊っちゃんランランラン大会

期　　日　　令和４年 12 月３日（土）
主　　催　　坊っちゃんランランラン大会実行委員会

（８）第 60 回愛媛マラソン

期　　日　　令和５年２月 12 日（日）
主　　催　　愛媛マラソン実行委員会

（９）愛媛調理製菓専門学校「料理作品展 2023」

期　　日　　令和５年２月 11 日（土・祝）
主　　催　　学校法人愛媛学園

(10) 中四国ご当地こなもんサミット 2023in 松山

期　　日　　令和５年３月 26 日（日）
主　　催　　同実行委員会

貸借対照表

令和5年3月31日現在

一般会計　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	45,148,564	80,821,819	△ 35,673,255
未収金	14,563,851	14,579,778	△ 15,927
過払金返金	0	0	0
棚卸資産	1,480,308	1,889,563	△ 409,255
流動資産合計	61,192,723	97,291,160	△ 36,098,437
２．固定資産			0
(1) 基本財産			0
定期預金	321,152,670	321,178,670	△ 26,000
投資有価証券	199,847,330	199,821,330	26,000
基本財産合計	521,000,000	521,000,000	0
(2) 特定資産			0
退職給与引当資産	10,693,330	25,831,263	△ 15,137,933
特定資産合計	10,693,330	25,831,263	△ 15,137,933
(3) その他固定資産			0
電話加入権	149,968	149,968	0
什器備品	1	2	△ 1
その他固定資産合計	149,969	149,970	△ 1
固定資産合計	531,843,299	546,981,233	△ 15,137,934
資産合計	593,036,022	644,272,393	△ 51,236,371
Ⅱ　負債の部			0
１．流動負債			0
賞与引当金	4,750,250	4,772,850	△ 22,600
未払金	21,093,995	39,092,683	△ 17,998,688
仮受金	19,404,432	60,241,851	△ 40,837,419
流動負債合計	45,248,677	104,107,384	△ 58,858,707
２．固定負債			0
退職給付引当金	30,456,740	33,135,305	△ 2,678,565
固定負債合計	30,456,740	33,135,305	△ 2,678,565
負債合計	75,705,417	137,242,689	△ 61,537,272
Ⅲ　正味財産の部			0
１．基金	0	0	0
基金	0	0	0
２．指定正味財産	521,000,000	521,000,000	0
指定正味財産合計	521,000,000	521,000,000	0
（うち基本財産への充当分）	(521,000,000)	(521,000,000)	(521,000,000)
３．一般正味財産			0
(1)代替基金	0	0	0
(2)その他一般正味財産	△ 3,669,395	△ 13,970,296	10,300,901
一般正味財産合計	△ 3,669,395	△ 13,970,296	10,300,901
正味財産合計	517,330,605	507,029,704	10,300,901
負債及び正味財産合計	593,036,022	644,272,393	△ 51,236,371

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
（1）経常収益			
基本財産運用益	361,729	309,446	52,283
基本財産利息収入	361,729	309,446	52,283
特定資産運用益	0	0	0
特定資産運用収入	0	0	0
受取会費	10,170,000	10,240,000	△ 70,000
賛助会員会費収入	10,170,000	10,240,000	△ 70,000
事業収益	5,756,580	3,568,362	2,188,218
広告料収入	984,600	959,600	25,000
手数料収入	2,723,440	1,283,014	1,440,426
販売収入	1,078,163	634,585	443,578
観光PR事業収入	0	0	0
物産と観光展手数料収入	970,377	691,163	279,214
受取補助金等	173,569,568	138,486,149	35,083,419
市補助金等収入	173,569,568	138,486,149	35,083,419
県補助金等収入	0	0	0
受取負担金	1,000,000	1,000,000	0
負担金収入	1,000,000	1,000,000	0
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金収入	0	0	0
雑収益	177,947	137,629	40,318
受取利息	880	1,064	△ 184
雑収入	0	0	0
雇用保険料預り金	177,067	136,565	40,502
経常収益計	191,035,824	153,741,586	37,294,238
（2）経常費用			0
事業費	144,358,198	120,131,167	24,227,031
報酬	610,247	657,800	△ 47,553
給料手当	28,217,335	31,753,842	△ 3,536,507
賞与引当繰入金	2,839,469	3,200,918	
退職給付費用	1,564,711	5,829,083	△ 4,264,372
福利厚生費	8,848,223	9,202,194	△ 353,971
臨時雇賃金	2,253,777	2,265,575	△ 11,798
会議費	640,815	523,994	116,821
旅費交通費	8,670,678	1,961,210	6,709,468
通信運搬費	4,064,572	4,736,872	△ 672,300
什器備品減価償却費	1	5,470	△ 5,469
手数料	70,990	0	70,990

消耗品費	5,133,068	3,493,401	1,639,667
印刷製本費	4,089,800	4,825,600	△ 735,800
諸謝金	5,558,485	3,143,618	2,414,867
報償費	600,000	0	600,000
委託費	50,604,125	38,312,827	12,291,298
負担金支出	1,531,550	810,800	720,750
広告宣伝費	3,980,803	4,355,780	△ 374,977
賃借料	2,384,694	1,781,182	603,512
修繕費	0	568,700	△ 568,700
保険料	126,100	133,140	△ 7,040
燃料費	0	0	0
光熱水料費	366,528	343,415	23,113
助成金支出	11,265,000	1,885,000	9,380,000
租税公課	102,700	31,800	70,900
雑費	300,250	77,688	222,562
期首棚卸高	1,889,563	1,822,471	67,092
期末棚卸高	△ 1,355,286	△ 1,591,213	235,927
管理費	36,376,347	35,822,167	554,180
役員報酬	5,087,223	4,198,341	888,882
給料手当	14,797,395	15,987,769	△ 1,190,374
福利厚生費	3,752,899	3,902,068	△ 149,169
臨時雇賃金	0	0	0
賞与引当繰入金	1,910,781	1,571,932	338,849
退職給付費用	1,310,910	1,948,939	△ 638,029
会議費	429,128	286,020	143,108
旅費交通費	0	0	0
交際費	59,500	16,500	43,000
通信運搬費	853,628	941,839	△ 88,211
消耗品費	1,068,847	1,205,377	△ 136,530
印刷製本費	534,820	513,920	20,900
諸謝金	200,000	200,000	0
委託費	1,638,780	969,650	669,130
負担金支出	734,130	611,830	122,300
賃借料	2,665,746	2,469,648	196,098
修繕費	0	3,000	△ 3,000
保険料	204,290	209,540	△ 5,250
燃料費	108,488	83,832	24,656
光熱水料費	921,832	610,662	311,170
租税公課	97,950	88,300	9,650
減価償却費	0	0	0
有価証券運用損	0	0	0
雑費（予備費含まない）	0	3,000	△ 3,000
経常費用計	180,734,545	155,953,334	24,781,211

評価損益等調整前当期経常増減額	10,301,279	△ 2,211,748	12,513,027
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	10,301,279	△ 2,211,748	12,513,027
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
過年度損益修正益	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
一般正味財産修正額	0	0	0
退職給付費用			
棚卸資産廃棄損	378	0	378
経常外費用計	378	0	378
当期経常外増減額	△ 378	0	△ 378
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	10,300,901	△ 2,211,748	12,512,649
一般正味財産期首残高	△ 13,970,296	△ 11,758,548	△ 2,211,748
一般正味財産期末残高	△ 3,669,395	△ 13,970,296	10,300,901
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
指定正味財産修正額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	521,000,000	521,000,000	0
指定正味財産期末残高	521,000,000	521,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	517,330,605	507,029,704	10,300,901

令和4年度正味財産増減計算書（内訳表）

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1（観光・物産）	公2（ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ）	共通	小計	収1（販売等）	共通	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部										
1．経常増減の部										
（1）経常収益										
基本財産運用益	0	0	361,729	361,729	0	0	0	0	0	361,729
基本財産利息収入			361,729	361,729			0			361,729
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用収入				0			0			0
受取会費	0	0	10,170,000	10,170,000	0	0	0	0	0	10,170,000
賛助会員会費収入			10,170,000	10,170,000			0	0		10,170,000
事業収益	970,377	129,000	0	1,099,377	4,657,203	0	4,657,203	0	0	5,756,580
広告料収入				0	984,600		984,600			984,600
手数料収入				0	2,723,440		2,723,440			2,723,440
販売収入		129,000		129,000	949,163		949,163			1,078,163
観光PR事業収入	0			0			0			0
物産と観光展手数料収入	970,377			970,377			0			970,377
受取補助金等	100,784,784	26,035,435	0	126,820,219	0	0	0	46,749,349	0	173,569,568
市補助金等収入	100,784,784	26,035,435		126,820,219			0	46,749,349		173,569,568
県補助金等収入	0			0			0			0
受取負担金	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
負担金収入	0		1,000,000	1,000,000			0			1,000,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金収入				0			0			0
雑収益	0	0	880	880	0	0	0	177,067	0	177,947
受取利息			880	880			0			880
雑収入				0			0			0
雇用保険料預り金				0			0	177,067		177,067
経常収益計	101,755,161	26,164,435	11,532,609	139,452,205	4,657,203	0	4,657,203	46,926,416	0	191,035,824
（2）経常費用										
事業費	104,803,196	30,715,082	4,601,717	140,119,995	4,238,203	0	4,238,203		0	144,358,198
報酬	0	0	610,247	610,247	0		0			610,247
給料手当	17,786,426	8,801,705	1,629,204	28,217,335	0		0			28,217,335
賞与引当金繰入額	1,429,145	1,028,874	381,450	2,839,469			0			2,839,469
退職給付費用	1,307,132	257,579	0	1,564,711	0		0			1,564,711
福利厚生費	4,326,676	2,540,731	1,980,816	8,848,223	0		0			8,848,223
臨時雇賃金	2,253,777	0	0	2,253,777	0		0			2,253,777
会議費	376,865	263,950	0	640,815	0		0			640,815
旅費交通費	6,946,238	1,724,440	0	8,670,678	0		0			8,670,678
通信運搬費	3,923,167	141,405	0	4,064,572	0		0			4,064,572
什器備品減価償却費	0	0	0	0	1		1			1
手数料	53,500			53,500	17,490		17,490			70,990
消耗品費	4,320,474	812,594	0	5,133,068	0		0			5,133,068
印刷製本費	891,000	3,198,800	0	4,089,800	0		0			4,089,800
諸謝金	5,484,485	74,000	0	5,558,485	0		0			5,558,485
報償費	600,000	0	0	600,000	0		0			600,000
委託費	47,825,770	61,600	0	47,887,370	2,716,755		2,716,755			50,604,125
負担金支出	303,550	1,228,000	0	1,531,550	0		0			1,531,550
広告宣伝費	3,889,803	91,000	0	3,980,803	0		0			3,980,803
賃借料	1,703,862	77,680	0	1,781,542	603,152		603,152			2,384,694
修繕費	0	0	0	0	0		0			0
保険料	118,400	7,700	0	126,100	0		0			126,100
燃料費	0	0	0	0	0		0			0
光熱水料費	0	0	0	0	366,528		366,528			366,528
助成金支出	990,000	10,275,000	0	11,265,000	0		0			11,265,000
租税公課	0	102,700	0	102,700	0		0			102,700
雑費	272,926	27,324	0	300,250	0		0			300,250
期首棚卸高				0	1,889,563		1,889,563			1,889,563
期末棚卸高				0	△ 1,355,286		△ 1,355,286			△ 1,355,286

科　目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1（観光・物産）	公2（ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ）	共通	小計	収1（販売等）	共通	小計			
管理費								36,376,347	0	36,376,347
役員報酬								5,087,223		5,087,223
給料手当								14,797,395		14,797,395
福利厚生費								3,752,899		3,752,899
臨時雇賃金								0		0
賞与引当金繰入額								1,910,781		1,910,781
退職給付費用								1,310,910		1,310,910
会議費								429,128		429,128
旅費交通費								0		0
交際費								59,500		59,500
通信運搬費								853,628		853,628
消耗品費								1,068,847		1,068,847
印刷製本費								534,820		534,820
諸謝金								200,000		200,000
委託費								1,638,780		1,638,780
負担金支出								734,130		734,130
賃借料								2,665,746		2,665,746
修繕費								0		0
保険料								204,290		204,290
燃料費								108,488		108,488
光熱水料費								921,832		921,832
租税公課								97,950		97,950
減価償却費								0		0
有価証券運用損								0		0
雑費（予備費含まない）								0		0
経常費用計	104,803,196	30,715,082	4,601,717	140,119,995	4,238,203	0	4,238,203	36,376,347	0	180,734,545
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,048,035	△ 4,550,647	6,930,892	△ 667,790	419,000	0	419,000	10,550,069	0	10,301,279
基本財産評価損益等				0			0			0
特定資産評価損益等				0			0			0
投資有価証券評価損益等				0			0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,048,035	△ 4,550,647	6,930,892	△ 667,790	419,000	0	419,000	10,550,069	0	10,301,279
2. 経常外増減の部							0			
（1）経常外収益							0			
過年度損益修正益				0			0			0
雑収益				0			0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用							0			
退職給付費用				0			0			0
棚卸資産廃棄損				0	378					0
経常外費用計	0	0	0	0	378	0	378		0	378
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 378	0	△ 378	0	0	△ 378
他会計振替額							0			0
当期一般正味財産増減額	△ 3,048,035	△ 4,550,647	6,930,892	△ 667,790	418,622	0	418,622	10,550,069	0	10,300,901
一般正味財産期首残高	△ 99,225,001	△ 55,598,720	106,400,956	△ 48,422,765	7,776,682	△ 1,757,451	6,019,231	28,433,238		△ 13,970,296
一般正味財産期末残高	△ 102,273,036	△ 60,149,367	113,331,848	△ 49,090,555	8,195,304	△ 1,757,451	6,437,853	38,983,307	0	△ 3,669,395
Ⅱ　指定正味財産増減の部							0			
受取補助金等				0			0			0
一般正味財産への振替額				0			0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			521,000,000	521,000,000			0			521,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	521,000,000	521,000,000	0	0	0	0	0	521,000,000
Ⅲ　正味財産期末残高	△ 102,273,036	△ 60,149,367	634,331,848	471,909,445	8,195,304	△ 1,757,451	6,437,853	38,983,307	0	517,330,605

財産目録

令和5年 3月31日現在

一般会計　　（単位:円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金	手元保管	つり銭準備金として	240,400
	預金	普通預金	運転資金として	44,908,164
		普通（伊予銀行）		28,543,319
		普通（愛媛銀行）		8,610,399
		普通（愛媛信用金庫）		2,742,304
		普通（県信漁）		716,858
		普通（県信連）		1,584,959
		普通(預り金)		468,865
		普通(書籍)		85,100
		普通(グッズ精算)		167,154
		普通(メダル)		1,855,530
		普通(物産)		133,676
	未収金			14,563,851
	会費収入			140,000
	販売収入			308,882
	手数料収入			97,368
	物産収入			14,017,601
	棚卸資産			1,480,308
流動資産合計				61,192,723
（固定資産）				
基本財産			公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	521,000,000
	定期預金			321,152,670
	譲渡性預金（伊予銀行）			10,000,000
	譲渡性預金（伊予銀行）			45,000,000
	譲渡性預金（伊予銀行）			150,000,000
	定期（伊予銀行）			136,000
	定期（愛媛銀行）			16,670
	譲渡性預金（愛媛銀行）			30,000,000
	譲渡性預金（愛媛信用金庫）			70,000,000
	定期（愛媛信用金庫）			6,000,000
	定期（県信漁）			10,000,000
	投資有価証券			199,847,330
	有価証券（地方債）	第438回大阪府公募公債		99,864,000
	有価証券（地方債）	第470回大阪府公募公債		99,983,330
特定資産				
	退職給与引当資産			10,693,330
	伊予銀行(普通)			10,693,330
その他固定資産				149,969
	電話加入権		公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産であり、管理運営の用に供している。	149,968
	什器備品		公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産であり、収益事業の用に供している。	1
	収益目的保有財産	松山城ﾛｰﾌﾟｳｪｲ駅舎3階	物産陳列ケース	1
固定資産合計				531,843,299
資産合計				593,036,022
（流動負債）				
	賞与引当金			4,750,250
	未払金			40,498,427
	未払金		公益目的事業等に供する支払	21,093,995
	仮受金		松山市へ返還すべき市補助金	19,404,432
流動負債合計				45,248,677
（固定負債）				
	退職給付引当金			30,456,740
固定負債合計				30,456,740
負債合計				75,705,417
正味財産				517,330,605

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

（1） 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券・・・償却原価法（定額法）によっている。

（2） 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、最終仕入原価法で行っている。

（3） 固定資産の減価償却の方法

什器備品について、定率法の直接法により減価償却を行っている。（償却率：0.25）

（4）リース取引の処理方法について

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

（5）引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金・・・・・・・支給見込額のうち、当期に帰属する額を計上している。

（6）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定 期 預 金	321,178,670	0	26,000	321,152,670
投資有価証券	199,821,330	26,000	0	199,847,330
小　計	521,000,000	26,000	26,000	521,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	25,831,263	7,947,178	23,085,111	10,693,330
小　計	25,831,263	7,947,178	23,085,111	10,693,330
合　計	546,831,263	7,973,178	23,111,111	531,693,330

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定 期 預 金	321,152,670	（321,152,670）	（0）	（　－）
投資有価証券	199,847,330	（199,847,330）	（0）	（　－）
小　計	521,000,000	（521,000,000）	（0）	（　－）
特定資産				
退職給付引当資産	10,693,330	0	0	（10,693,330）
小　計	10,693,330	0	0	（10,693,330）
合　計	531,693,330	（521,000,000）	0	（10,693,330）

4. 担保に供している資産

該当なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

（単位：円）

什器備品	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	149,968	0	0	149,968
什器備品	547,050	1	547,049	1
合　計	697,018	1	547,049	149,969

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	帳簿価格	時価	評価損益
第438回大阪府公募公債（10年）	99,864,000	99,500,000	△ 364,000
第470回大阪府公募公債（10年）	99,983,330	96,580,000	△ 3,403,330
合　　計	199,847,330	196,080,000	△ 3,767,330

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
運営補助金	松山市	0	173,569,568	173,569,568	0	一般正味財産

附 属 明 細 書

１. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

２. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,772,850	4,750,250	4,772,850	0	4,750,250
退職給付引当金	33,135,305	2,875,621	5,554,186	0	30,456,740